



へきけんニュース

平成24年4月10日発行 第45号

☎0154-44-3291 FAX0154-44-3292

ホームページ

<http://hekiken.kus.hokkyodai.ac.jp/>

電子メールアドレス

kus-hekiken@j.hokkyodai.ac.jp

平成24年度「へき地教育研究計画」を募集します

へき地教育研究支援部門の事業費による「へき地教育研究計画」を、以下のように募集します。

① 研究計画の申請

- * 研究課題は、右の3つの領域に属するものとします。
- * 研究計画書の請求は、へき研事務室（釧路校B109教室 内線54-291）までお問い合わせください。なお、計画書の様式は、当部門のホームページからダウンロードが可能です。
- * 研究計画書には、研究目的・内容を具体的に記入して下さい。また、「へき地・小規模校教育の発展に資する本研究の意義」を明記してください。
- * 経費の項目は、「備品・消耗品・旅費・その他」です。
- * 申請額の上限は、20万円の予定です。
- * 研究計画書（1部）は、5月21日（月）正午までに、へき研事務室に提出もしくはメール送信してください。

研究課題

- ・ へき地・小規模校教育に関する基礎的・理論的研究
- ・ へき地・小規模校教育に関する実践研究（実践報告を含む）
- ・ へき地・小規模校教育にかかわる地域研究

② 研究計画の採否

- * 予算示達を受けて、7月上旬を目処に決定します。

③ 研究成果の提出

- * 研究成果は、次年度の紀要『へき地教育研究』第68号に投稿することになります。原稿の締め切りは、平成25年5月末日です。

へき地・小規模校教育フォーラム「卒業後に振り返る『へき地校体験実習』」を開催しました

平成24年3月3日、当部門主催「卒業後に振り返る『へき地校体験実習』」を開催し、本学の卒業生や学生、教員、沖縄の大学教員など35名が参加しました。

第Ⅰ部は札幌校、旭川校、釧路校、岩見沢校の卒業生4人から、小規模校と大規模校に見る人間関係や学習環境の違い、子どもたちとの触れあいで学んだこと、学校と地域との関係などが発表されました。

第Ⅱ部は波多野伸一校長（鹿追町立笹川小学校）から「コーディネーター能力を持つ教師であれ」とのコメントとふまえ、今後の「へき地校体験実習」の充実に向けて受け入れ校との連携をどのように図るかなど、会場を交えた活発な意見交換が行われ、盛会のうちに終了しました。



『へき地教育研究』第67号の投稿締切について

- (1) 平成23年度に採択された研究計画の成果の投稿締め切りは、平成24年5月末日です。『へき地教育研究』執筆要項（ホームページ参照）に基づいて、紀要原稿提出用紙を添付の上、へき研事務室に提出してください。
なお、紀要原稿提出用紙に関しましては、へき研事務室へお問い合わせください。
- (2) 研究費配分の有無にかかわらず、自由投稿を歓迎します。詳細はへき研事務室にお問い合わせください。

研究紀要『へき地教育研究』第66号の発刊について

今年1月に『へき地教育研究』第66号を刊行いたしました。入手を希望する場合は、へき研事務室にご連絡ください。なお、本誌は当部門のホームページからも閲覧が可能です。

へき地教育研究 第66号 2011

へき地・小規模校教育フォーラム

複式授業と少人数指導のあり方 — 公開複式模擬授業とパネルディスカッション —

中川 並樹・滝川 敦善・渥美 清孝

論文

教育学部学生の「教育」と「へき地教育」に対する情緒的意味の分析

山崎 正吉

へき地の保護者と教員が抱く児童観：人間関係、コミュニケーションスキル、競争心について

今在 慶一朗

社会性をはぐくむへき地・小規模校の学級経営の基本的観点と課題

玉井 康之

「環境」に関する子どもの知識と自覚を高める方法について

— 自然豊かなへき地・小規模校におけるニホンザリガニの生態に焦点を当てた授業プランの提案と実践の検討 —

山内 健・奥山 洌・高嶋 幸男・水口 拓真

へき地における特別支援教育に関わる学校間連携の実践

— 根室管内における保幼～小の連携及び発達・子育て支援の取り組みを事例に —

二宮 信一・古森 康晴・佐藤 航・服部 健治

小規模小中併置校における教師の不登校支援—コラーージュ療法による臨床心理的支援の実践—

小綱 りか・森 範行

道内高校における地域に根ざした特色ある環境教育活動の展開と地域特性との関連性

— 都市部と地方郡部の差異に着目して —

武田 泉

研究ノート

北海道道東地方における「地域伝承文化」「地域伝承文化教育活動」研究の課題と展望

— 根室市瑤瑤瑠地区における「瑤瑤瑠獅子神楽保存会」「瑤瑤瑠獅子神楽子供会」の事例から —

宮前 耕史

『複式学級における学習指導の在り方【改訂版】』を刊行しました

本誌は、本学と北海道教育委員会の連携事業として好評を得ている「基礎編」と「実践編」を合冊し、新しい学習指導要領に対応した内容に改訂しました。

道内の複式学級を有する小中学校には、北海道立教育研究所から配布しています。

講義や演習などで活用を希望する場合は、へき研事務室にご連絡ください。



平成24年度 へき地教育研究支援部門 メンバー紹介 *氏名の前に丸印のある方は新規メンバーです

今年度のへき地教育研究支援部門のメンバーは以下の通りです。よろしくお願ひします。

役職	氏名	所属	役職	氏名	所属
センター長	眞田 雄三	理事	センター員	川前 あゆみ	釧路校
部門長	村田 文江	釧路校		廣田 健	釧路校
センター員	前田 賢次	札幌校		戸田 竜也	釧路校
	根本 直樹	函館校	○八木 修一	釧路校	
	今在 慶一朗	函館校	共同研究員 (へき地教育アドバザー)	○梅木 登喜雄	札幌校
	小出 高義	旭川校		○宮武 一典	旭川校
	小谷 克彦	旭川校		松野 孝	釧路校
	坂井 誠亮	旭川校	事務担当	○川瀧 将之	総務課
○竹本 克己	旭川校	○原 愛子		釧路校	